



Universala Esperanto-Asocio
Por daŭripova
lingva kaj kultura diverseco



RIO+20
Konferenco de
Unuigintaj Nacioj
pri daŭripova
evoluo

ブリタニー・トリルフォードの国連リオ+20サミット開会式スピーチ

ニュージーランドから “Tēnā Koutou” (マオリ語で、皆さんこんにちは)。

私の名前はブリタニー・トリルフォードといいます。私は17歳、こどもです。今日、この瞬間、私は、全てのこどもです。皆さんのこどもです。世界にいる30億人のこどもです。この数分間、私のことを世界人口の半分とってください。

私は今、燃える心でこの場に立っています。世界の状況に困惑し怒りに燃えています。この状況を変えるため、今こそ私たち全員が力を合わせることを望みます。私たちが今ここにいるのは、私たちが人間集団としてこれまで作り出してきた問題を解決し、私たちに未来があることを確実にするためです。

皆さんと皆さんの政府は、貧困を減らし、環境を守ることを約束しました。皆さんは、気候変動と闘い、きれいな水と食糧を確保することを約束しました。多国籍企業は、環境を尊重し、グリーン生産を導入し、自らが起こした汚染を償うことを約束しました。しかし、これらの約束にもかかわらず、私たちの未来は危険にさらされています。

私たちは皆、時が刻々と過ぎ、急速に時間切れになろうとしていることを知っています。皆さんは72時間以内に皆さんのこどもたち、私のこどもたち、そのまたこどもたちの運命を決めなければなりません。私は今、時計をスタートさせます。チクタク、チクタクと。

20年前のことを思い起こしてみましよう。私が生まれるずっと前のことです。1992年の第1回地球サミットで皆がここリオに集まりました。そのサミットでは、変化が必要だと誰もが知っていました。私たちのシステムの全てが私たちの周囲で破綻し崩壊しつつありました。サミットに集まった人たちはこれらの課題を認識し、より良いものを作り出したい、より良いものに真剣に取り組みたいと考えたのです。

彼らは素晴らしい約束をしました。今読んででも希望を抱かせてくれる約束です。しかし、これらの約束は、破られたとは言いませんが、まだ果たされていません。どうしてこのようなことがあるのでしょうか。私たちの周囲には、解決策を提供してくれる知識がいくらでもあります。自然は、設計ツールです。生命を与え、価値を生み、進歩、変革、変化を可能にするような全体的で包括的なシステムはどうあるべきかのヒントを与えてくれます。

次世代を担う私たちは、変化を要求します。私たちに未来があることを保証してくれる行動を要求します。私たちは、皆さんがこれからの72時間で他の全ての利益よりも私たちの利益を優先し、勇気をもって正しいことをすることを信じています。どうか、リーダーシップを発揮してください。私は、リーダーシップの発揮できるリーダーが欲しいのです。

私は自分の未来のために闘うためにここにいます。そのために私は今ここにいるのです。最後に、皆さんにお願いがあります。なぜここにいるのか、何をすることができるのかを考えてください。自分の立場を守るために来ているのですか。それとも私たちを守るために来ているのですか。

ブリタニーのスピーチは下記のビデオで閲覧可能：

<http://www.linguistic-rights.org/rio/Rio+20.html#brittany>